



【令和5年度 第1回即応態勢点検】

令和5年4月25日

令和5年4月25日（火）自衛隊札幌病院（病院長 鈴木陸将）は、即応態勢の実効性向上を目的とした『令和5年度第1回即応態勢点検』を実施し、防衛警備上の事態、災害派遣及び航空機事故における事案発生時の初動対応を演練した。

部隊当直司令は、『0500頃、釧路沖を震源とする最大震度7の地震が発生』の状況付与を受け、速やかに電話による非常呼集を開始した。残留営内隊員が部隊当直司令の指示により災害派遣倉庫、薬剤庫、衛生資材庫から携行資材を搬出し、病院地下資材搬入口において集積・準備を行った。准看学生は、集合完了後に部隊当直司令の指示を受け、施設等の状況確認及び各倉庫からの資材搬出等の支援を行った。じ後、救護班の要員が到着し、携行資材の点検、人員・装備の確認を実施し、車両積載までを迅速に完了させ、派遣準備完了を統裁官（病院長）へ報告した。

統裁官（病院長）は、『即応性を向上させるためには、日頃から職員全員が連携した訓練を重ねることが重要である。実派遣において、迅速な派遣準備ができるよう物心両面の準備を引き続き維持せよ。また、本訓練での不備事項は、各人においても速やかに是正せよ。』と訓示し、状況終了とした。

本点検においては、北部方面衛生隊から人員及び救急車の支援を受けて実動し、医療支援隊救護班としての連携要領を確認して、初期目的を達成することができた。



状況付与



指示を受ける准看学生



営内者による資材搬出



中央材料室から資材搬出



携行薬品の準備



携行する衛生資材の確認



派遣車両の到着（方面衛生隊）



資材積載



派遣準備完了報告



統裁官訓示